

(仮称) 大宮盆栽振興イベントについて

審議事項

- 盆栽振興を推進するため、（仮称）大宮盆栽振興イベントを開催してよろしいか
- 第1回イベントを東京2020大会の開催に合わせて実施してよろしいか

大宮盆栽に関する現状

「大宮盆栽振興プロジェクト」より

■ 大宮盆栽に関する現状

- ・ 盆栽業界の停滞など産業として活力が低下
- ・ ライフスタイルの変化により盆栽と触れ合う機会が減少
- ・ 国内での女性や若い世代の興味の高まり
- ・ 海外での盆栽ブームと大宮盆栽の高い知名度
- ・ 世界盆栽大会の開催と大きな成果

■ 大宮盆栽美術館入館者数

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート等利用者	講座・学校・視察等	合計
平成26年度	24,180	15,943	609	863	6,230	12,736	60,561
平成27年度	30,026	19,536	790	1,013	5,129	17,223	73,717
平成28年度	28,793	17,671	720	1,005	5,425	22,013	75,627
平成29年度	39,911	27,450	703	1,374	6,196	20,367	96,001
平成30年度	29,676	17,306	900	1,098	4,570	18,610	72,160

大宮盆栽に関する課題

「大宮盆栽振興プロジェクト」より

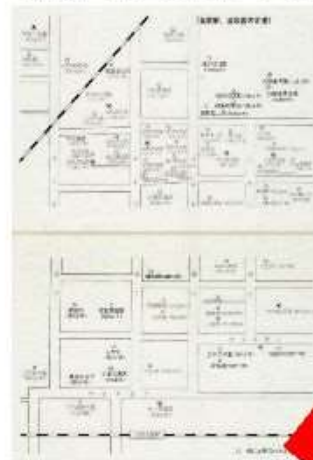
■ 大宮盆栽に関する課題

- ・ 愛好家の高齢化、減少
- ・ 後継者不在、職人の減少
- ・ 盆栽を知る機会が少ない
- ・ 技術継承の場がない
- ・ 外国人への盆栽普及の場が少ない
- ・ 大宮盆栽美術館の充実

30園以上あった盆栽園が6園に減少
(さいたま市北区盆栽町周辺に居住する盆栽園数)

大宮盆栽村の盆栽園の推移

最盛期の盆栽園数(昭和11年頃)



出典:大宮盆栽村五十年のあゆみ

昭和48年頃



現在



盆栽振興に必要な施策

「大宮盆栽振興プロジェクト」より

持続可能な盆栽業経営

- ・収益拡大・販路拡大の支援、既存イベントの充実・強化、盆栽村市有地の活用、次世代への啓発・教育、海外への情報発信強化、インバウンドへの取組 など

後継者の育成、技術の伝承

- ・盆栽園継続のための支援、国際盆栽アカデミーの充実と活用、日本盆栽協会などとの連携、盆栽師の育成支援 など

大宮盆栽のブランド強化、PR

- ・メディアとの連携、海外盆栽関連施設との連携、国内盆栽関連地との連携、国内外への情報発信強化、若年層へのPR など

盆栽村の街並みの維持と村の魅力づくり・活性化

- ・盆栽村来訪者の増加策、盆栽美術館来館者の満足度を高める取組、盆栽美術館と盆栽園を一体で楽しめる仕組みづくり、盆栽四季の家の活用 など



伝統産業としての
盆栽業の推進

市の誇る文化と
しての盆栽ブラン
ドの確立

盆栽村の聖地化

盆栽振興施策に基づく市の取組状況

■ 大宮盆栽振興プロジェクトによる全庁的な取組

大盆栽まつりと連動した各種イベントの開催。三条市と連携したイベントの開催。

■ さいたま国際盆栽アカデミー

平成29年度より開講し、順次、コースを拡充。来年度より外国人上級コースを開講予定。

■ 海外盆栽関連施設との姉妹館提携

米国立盆栽・盆景園と姉妹館提携。今後、他の盆栽関連施設との連携も検討。

■ 企画展示・特別展示

大宮盆栽美術館コレクションギャラリーにおける盆栽等の展示、企画展示室における盆栽に関連する美術品や歴史資料の展示を開催。

■ 普及事業

大宮盆栽美術館において盆栽ワークショップや、子ども向けワークショップ、盆栽実技、盆栽相談デー、ギャラリーツアーなどを実施。

■ 学校連携

大宮盆栽美術館において、総合学習における盆栽授業や土曜チャレンジスクール、学校見学などを実施。



第8回世界盆栽大会 in さいたまの開催

■大会登録者数（※大会登録料金を支払い、会期中のすべてのプログラムに参加可能な方）

国内登録者数（人）	海外登録者数（人）	合計
438	777	1,215

■来場者数・経済波及効果

会場	来場者数（人）	経済波及効果（千円）
メイン会場 開会式・記念デモンストレーション（大宮ソニックシティ） 日本の盆栽水石至宝展（さいたまスーパーアリーナ） 歓迎レセプション・友好の夕べ（パレスホテル大宮）	45,513	764,745
サブ会場 武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽美術館、大宮盆栽村	48,239	80,510
市主催イベント 大宮駅西口イベントスペース、盆栽四季の家ほか	23,810	156,898
合計	117,562	1,002,153



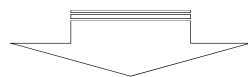
国内外に広く盆栽の魅力を発信した世界盆栽大会のレガシーを継承していく必要

世界盆栽大会での「さいたま宣言」

盆栽は、世代を超えて受け継がれていく中で、その価値を高めていく芸術です。これからも末永く盆栽が継承されていくために、私たちは盆栽の魅力をより強く発信し、後継者の育成に努めていきます。

すでに日本では、幾世代にも渡り盆栽が継承されてきた経験を有しています。その経験を世界の国々と共有し、すべての国でこれからも盆栽文化が発展していくことに協力していきます。

私たちは、1989年に開催された第1回世界盆栽大会の基本理念「盆栽の心で築く世界の平和」を受け継ぎ、さらに世界の盆栽愛好家同士の友好・親善を深め、「樹を継なぎ、人を継なぎ、平和を継なぎ」、**次の100年へ向け、その実現に寄与**してまいります。
(抜粋)



「さいたま宣言」の具現化へ！

次の100年へ向けて

- 盆栽振興施策のさらなる推進
- 「さいたま宣言」の具現化の達成

コアプロジェクトが必要

(仮称) 大宮盆栽振興イベントの開催

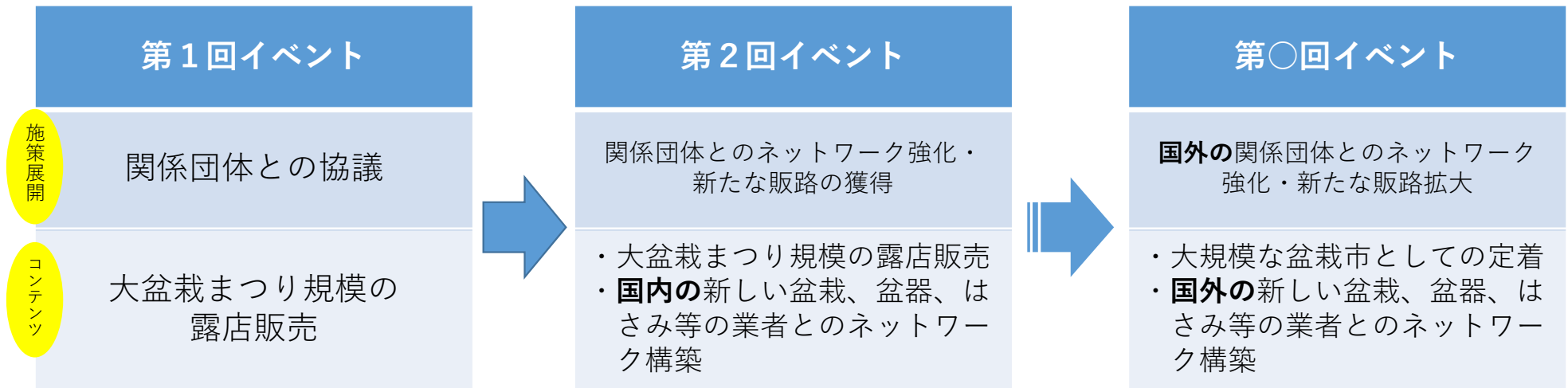


コンセプト及びコンテンツの展開（案）

大規模なイベントが持つ情報発信力・集客力を活用し、盆栽振興施策の更なる推進及び盆栽文化の発信を図る。

①収益拡大・販路拡大の支援【持続可能な盆栽業経営】

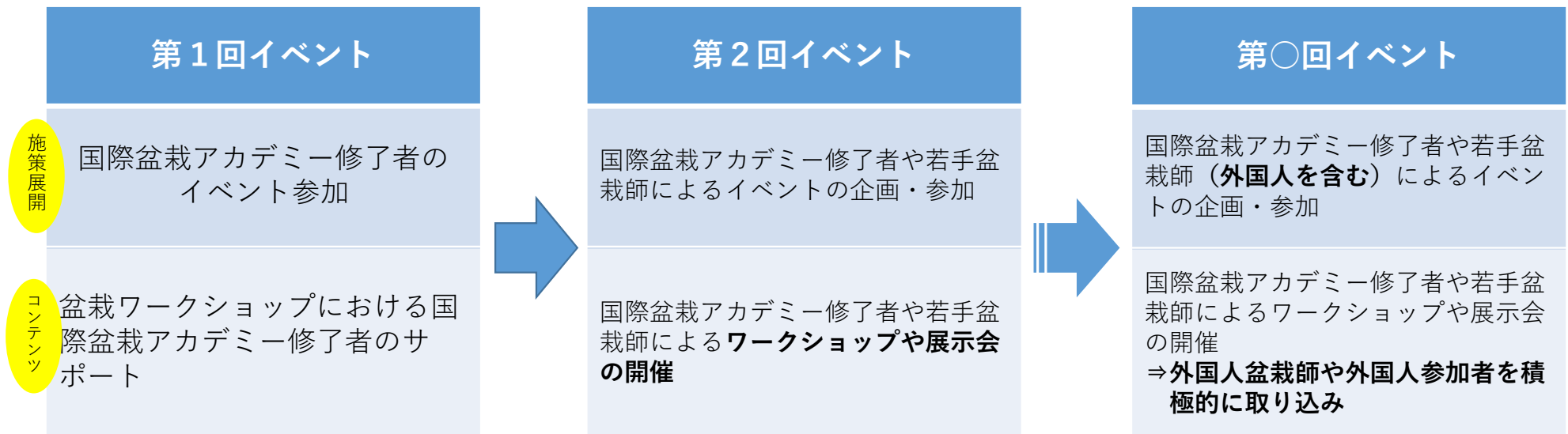
国内外の関係団体等と連携して大規模な露店販売を開催し、盆栽等の販路拡大の契機とする。



コンセプト及びコンテンツの展開（案）

②国際盆栽アカデミーとの連携／若手盆栽師等の作品展示【後継者の育成、技術の伝承】

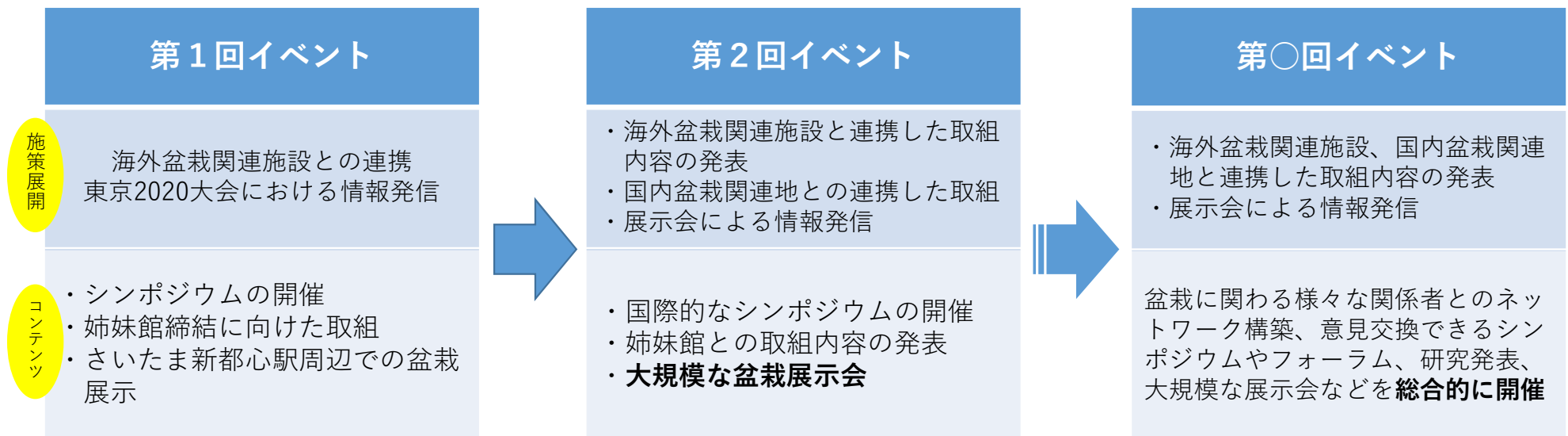
- 国際盆栽アカデミー修了者の企画による盆栽ワークショップを開催し、技術の伝承を促進する。
- 若手盆栽師や国際盆栽アカデミー修了者の作品を披露する場を創出する。



コンセプト及びコンテンツの展開（案）

③盆栽文化の発信・国内外の盆栽関連施設と連携した取組【大宮盆栽のブランド強化・PR】

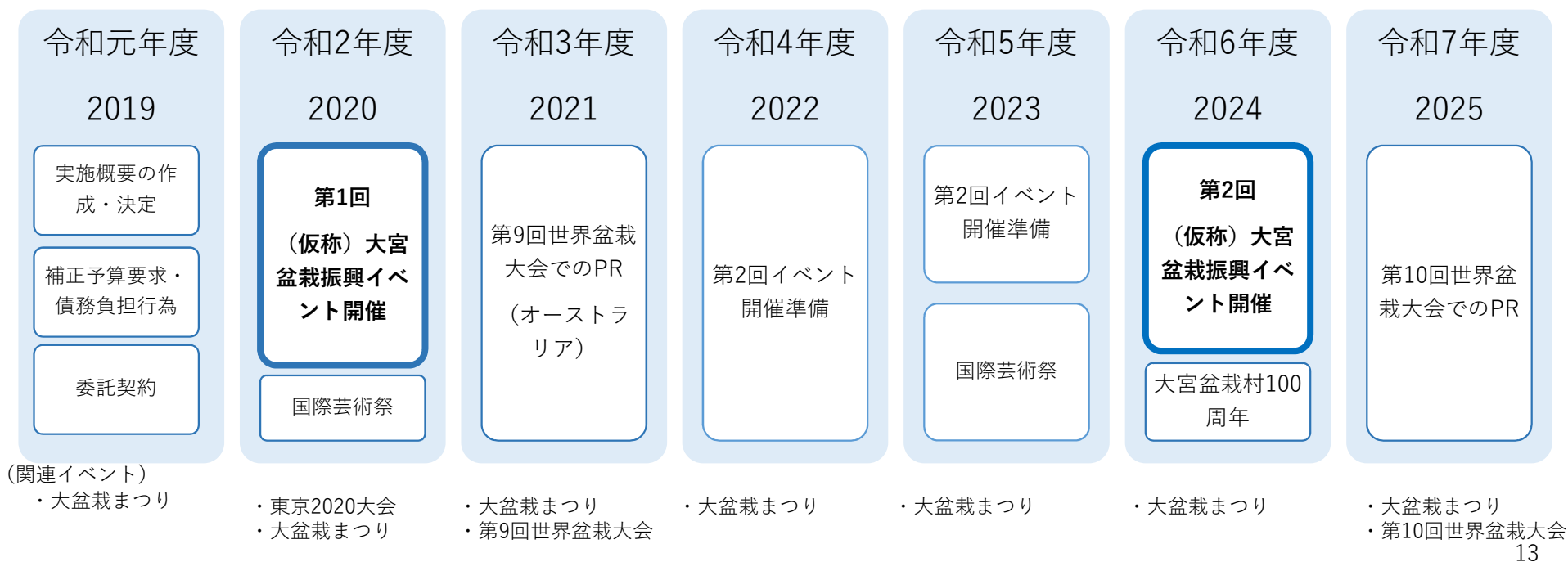
大規模な盆栽展示会を行うほか、シンポジウムや研究発表などを開催し、盆栽文化を国内外に発信する。



開催時期（案）

【開催時期の考え方】

- 第1回イベントは**東京2020大会**に合わせて開催、第2回イベントは**大宮盆栽村開村100周年**に合わせて開催する。
- 第3回以降は、国際芸術祭など他の文化イベントとの同時期開催は避け、**文化関連事業が毎年開催されるよう**開催時期を検討する。



第1回の概要（案）

東京2020大会の開催期間に実施し、おもてなしアクションプラン関連取組との相乗効果を図る

- 名 称 (仮称) 大宮盆栽振興イベント
- 開催時期 令和2年7月23日(木・祝)～8月10日(月・祝)
- 会 場 大宮盆栽美術館、大宮盆栽村、さいたま新都心駅周辺、大宮駅周辺
- 主 催 さいたま市

第1回のターゲット：東京2020大会で本市に訪れる国内外の観戦客及びメディア



盆栽の魅力や「さいたま市＝盆栽」というイメージを発信することを主眼に置いた取組を実施

第1回の概要（案）

【大宮盆栽のブランド強化、PR】

（1）東京2020大会会場周辺での盆栽展示

会場：さいたま新都心駅周辺

- ・ 大宮盆栽協同組合や日本盆栽協会の協力によるさいたま新都心駅周辺における盆栽展示
（※東京2020大会ボランティアの配置場所を想定）
- ・ 東京2020大会来場者やメディアの興味をひく伝統的なスタイルでの展示



第1回の概要（案）

【大宮盆栽のブランド強化、PR】

（2）海外盆栽関連施設と連携した取組の発信

会場：大宮盆栽美術館、大宮駅周辺

- ・盆栽文化の発信や継承についてのシンポジウムの開催（大宮駅周辺）
- ・米国立盆栽・盆景園との連携事業紹介（大宮盆栽美術館）
- ・オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館締結に向けた事業（大宮駅周辺）



米国立盆栽・盆景園



オーストラリア・キャンベラ樹木園

第1回の概要（案）

【持続可能な盆栽業経営／後継者の育成、技術の伝承】

（3）盆栽に触れる機会の創出

会場：大宮盆栽美術館、大宮盆栽村

- ・ 大宮盆栽美術館での空間演出による展示（大宮盆栽美術館）
- ・ 子どもやファミリー向けの体験・遊べる空間を提供（大宮盆栽美術館）
- ・ 大宮盆栽美術館の開館時間延長によるライトアップ（大宮盆栽美術館）
- ・ 初心者向けワークショップの実施（大宮盆栽美術館）
- ・ 盆栽市の開催（大宮盆栽村）



空間演出



体験・遊べる空間

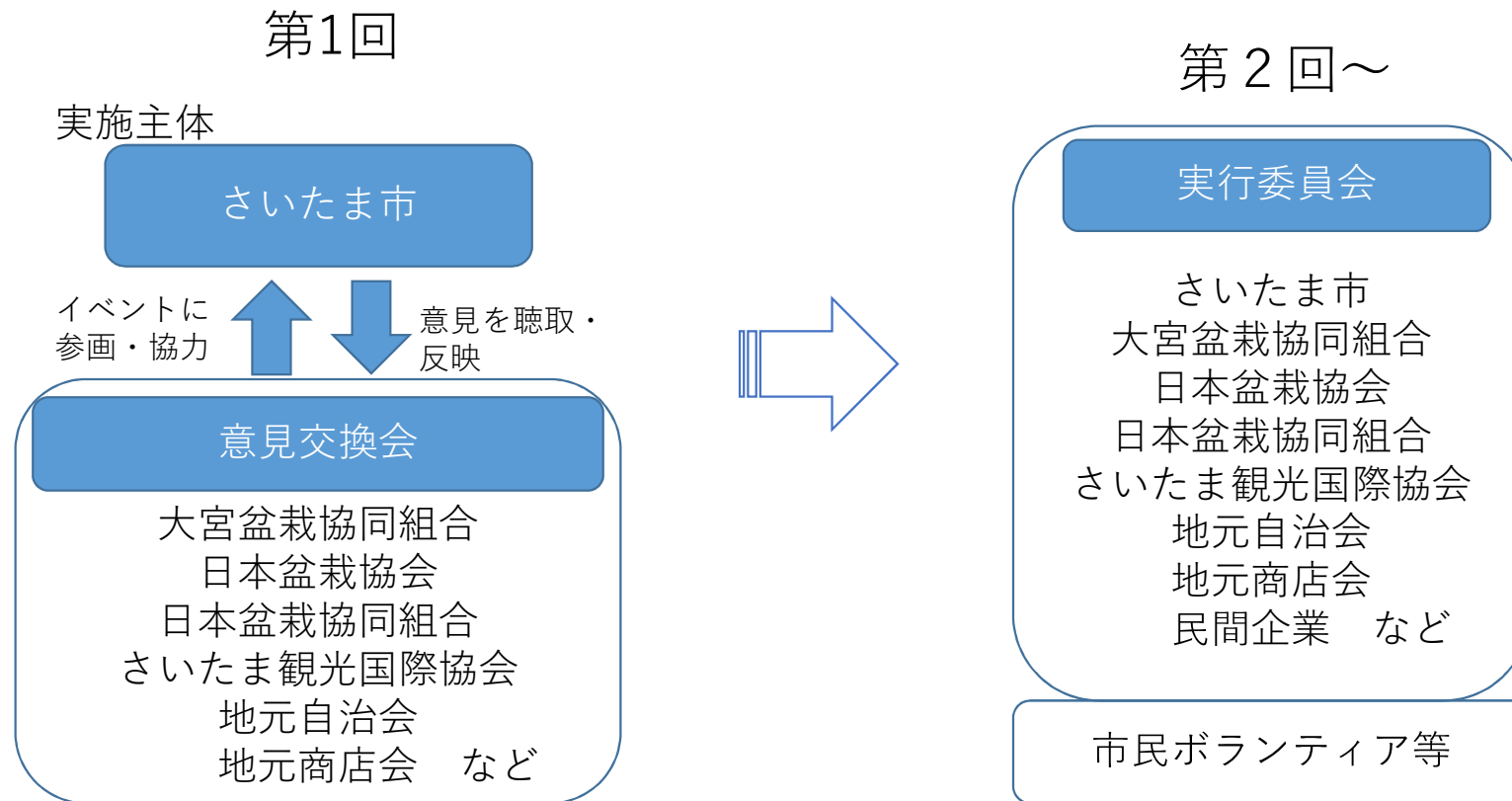


ライトアップ

第1回のスケジュール（案）

9月~10月	12月	2月	7月~8月	9月~
実施概要の作成・予算積算	補正予算要求 債務負担行為	イベント準備開始 委託契約	大宮盆栽振興イベント開催	事業とりまとめ 効果検証

実施体制（案）



第1回の事業費（概算）

【支出】

項目	内容	概算
(1) 東京2020大会会場周辺での盆栽展示	盆栽展示に係る費用	3,000千円
(2) 海外盆栽関連施設と連携した取組の発信	シンポジウムに係る費用	10,000千円
	米国立盆栽・盆景園との連携事業に係る費用	
	オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館締結に向けた事業に係る費用	
(3) 盆栽に触れる機会の創出	大宮盆栽美術館での空間演出にかかる費用	27,000千円
	子どもやファミリー向けの体験・遊べる空間に係る費用	
	大宮盆栽美術館の開館時間延長によるライトアップに係る費用	
	初心者向けワークショップに係る費用	
	盆栽市に係る費用	
合計		40,000千円

【収入】

項目	内容	概算
グッズ等売上	1,000円×1,000人	1,000千円
文化庁補助金	補助率 1/2 上限30,000千円	19,000千円
市費		20,000千円
合計		40,000千円